

とき

vol.26

青少年読書感想文 全国コンクールで 入賞!

たまり たかし
玉利 崇 君
(志佐小 2 年)



玉利崇君が、第53回青少年読書感想文全国コンクール（社団法人全国学校図書館協会・毎日新聞社主催）で全国学校図書館協議会長賞（優良賞）に輝きました。同コンクールは、子どもや若者が本に親しむ機会をつくり、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的に毎年開催されています。

玉利君は、小学校低学年の部（1、2年）に応募し、県内の代表作品15点に選ばれ、全国コンクールでは、4番目の賞に当たる全国学校図書館協議会長賞（優良賞）を受賞しました。

応募したのは「いいから いいから」（長谷川義史著、絵本館）を読んで書いた「安心のじゅ文」と題した感想文。「いいから いいから」という言葉を使ってみると、周りの人をほっとさせたり励ましたりする「安心のじゅ文」なんだと気づいたという内容です。玉利君は「おもしろかったので1日で読み終わりました。感想文は漢字を使うように気をつけて、先生と話し合いながら約2日かけて書き上げました。お風呂に入っているときに担任の先生から電話があつて、お母さんから賞に選ばれたと聞いたとき『うそじゃない?』と思い信じられなかったけど、本当だと知ってとてもうれしかったです。ミニバスケットボールや水泳もしているけど、読書も好きなので、あいた時間にはよく本を読みます。これからもたくさんの本を読みたいです」と話していました。